

2014 年度事業計画書

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

1. 基本方針

自主事業である研究者等研修事業、コレクティブオフィス事業、修学旅行受入事業と、引き続き受託予定のアドバイザー派遣事業、明舞活性化事業は継続して実施する。また、まちづくり支援として実施している淡路地域再生プラットフォーム形成と、東日本被災地支援事業による被災地域での住民合意形成などを進める。また、阪神・淡路大震災 20 周年事業、明舞団地まちびらき 50 周年の周年事業にも取り組む。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る調査・研究・研修・政策提言

①研究者等研修事業（自主事業／2014.4.1～2015.3.31）

震災体験現地交流プログラムや、市民活動やまちづくりに関わる人々との交流・体験プログラムで、各種団体の研修プラン、その他講師派遣などの幅広いニーズに対応し実施する。

②調査事業（赤穂市委託事業／2014.7.1～2015.3.31）

赤穂市ユニバーサル社会づくり推進地区事業プランの具体的取り組みの「近所の居場所づくり体験会」を進めるためのワークショップを実施する。

③研究事業

- 「阪神・淡路における市民まちづくり支援の 20 年と今後の教訓」

2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日（ひょうご安全の日推進事業）

20 周年を機に検討すべき課題は、「被災者主体の復興まちづくりを離陸定着させるための支援手法」「制度的支援と自発性を両立させる仕組み」「平時の備え」と考えている。それらを研究するために、まちづくり専門家派遣の概要・件数・成果、復興まちづくり支援を行ってきた支援者・専門家のネットワークの役割、まちづくり支援の仕組みの概要・件数・トピックスのまとめとまちづくりの担い手へのヒアリングを実施する。まとめのシンポジウムの開催と冊子を作成する。

(2) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりの支援事業

①コレクティブオフィス事業（自主事業／2014.4.1～2015.3.31）

非営利の市民活動を始める、あるいは既に活動を始めているがまだ軌道に乗らない個人やグループに、拠点となる場所と必要な設備を提供するインキュベート事業として継続してサポートしていく。

②ひょうごボランティア基金助成事業

- 淡路地域再生プラットフォーム支援事業

（地域づくり活動 NPO 事業助成／2014.4.1～2015.3.31）

兵庫県地域づくり活動支援事業（県モデル事業）補助金事業、ひょうごボランティア基金 NPO・行

政協働事業助成事業として取り組んできた地域再生プラットフォーム形成事業で生まれた「プラットフォーム淡路島」をサポートすることで、地域の課題解決力を安定化・強化することができるプラットフォームの発展につなげる。

③東日本被災地支援事業

東日本大震災の被災地支援のための専門家派遣などの支援や、地元活動家のメンバーを神戸に招いて意見交換や現場見学を行う。

- 「伝える・繋げる/in 兵庫」阪神・淡路大震災と東日本大震災の復興まちづくり

2014年5月1日～2015年3月31日（兵庫県まちづくり技術センター）

阪神・淡路大震災 20周年を迎えるにあたり、阪神・淡路及び東日本の両被災地の復興まちづくりを通して相互のネットワークを強化し、兵庫の安全安心のまちづくりのあり方を考えるため、復興まちづくりの交流とシンポジウムを開催する。

- 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家派遣事業

2014年4月1日～2015年3月31日（兵庫県費用弁償）

兵庫県の専門家派遣制度（ひょうごまちづくりコンサルチーム派遣、ひょうごまちづくりアドバイザー派遣）を活用し、神戸まちづくり研究所メンバーを派遣し復興をサポートする。

- 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家派遣事業業務委託（派遣専門家／2014.4.1～2015.3.31）

東日本大震災ひょうごまちづくり専門家派遣事業（2013年度）における準備報告業務費（専門家からの委託）と事務局への活動費にて事務作業を処理する。

- 東日本大震災特定課題被災地訪問団体受け入れ（トヨタ財団／2014年4月1日～2015年3月31日）

トヨタ財団 2013年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）の助成を受け、近年に大きな自然災害を経験し、そこから復興を目指した奥尻島、玄界島、中越、阪神・淡路の経験と復興の結果のまちを直に見て学ぼうとしている団体を受け入れ、阪神・淡路で同じ経験をした多様な主体（活動家、行政、専門家など）との意見交換や現場見学をとおして学ぶ機会をつくる。

④相談事業

市民活動やまちづくりについての相談を受ける。

⑤アドバイザー派遣事業

- NPO 等育成アドバイザー派遣事業（神戸市委託事業／2014.4.1～2015.3.31）

神戸市内の市民活動を行う団体（NPO）の運営に対するマネジメント力強化のために、アドバイザーを派遣する。また、運営ステップアップのための講座も開催する予定。

⑥HMP 事業

兵庫県下のまちづくり関係者のネットワーク構築を推進する。

（3）まちづくり及び地域再生のために必要な事業

①修学旅行受け入れ事業（自主事業／2014.4.1～2015.3.31）

生徒や学生が震災復興の状況を直に見聞することができるよう、震災体験現地交流プログラムにて修学旅行を受け入れる。

②明舞活性化事業

- まちづくりコーディネーター常駐業務（兵庫県住宅供給公社委託事業／2014.4.1～2015.3.31）

毎週火曜日に明舞まちづくり広場に2名のまちづくりコーディネータを常駐させ、まちづくりの情報収集、提供、地域団体の活動の支援のほか、住民同士の助け合いシステムを構築するための明舞お助け隊の活動をコーディネートする。

- 松が丘住宅再生方策検討支援事業

（松が丘住宅管理組合／2014.6.1～2015.3.31）

築50年を経過した集合住宅の再生方策を検討する。建て替えや改造、減築などあらゆる可能性を模索するため、現状の調査をおこない再生の課題を抽出する。2年間で、再生の方向性を決める。

- 明舞団地まちびらき50周年記念事業オープニングイベント

（兵庫県住宅供給公社委託事業／2014.5.1～2014.5.31）

基調講演、ニュータウン再生への取組の事例紹介、学識経験者や近隣地区において先駆的に団地再生を進める他団地の関係者を交えたパネルディスカッションを行なうことで、明舞団地再生の取り組みについての検証や今後の団地再生の展望を開く。

（4）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

①ニュースの発行

ニュースを発行する。

②実行委員会・ネットワーク等に参加

- ・こうべあいウォーク 2015 実行委員会
- ・明舞再生塾
- ・ひょうご市民活動協議会（HYOGON）
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク など

3. 事業実施体制

（1）会議に関する事項

①通常総会

開催日 2014年5月29日（木）
開催場所 神戸市生涯学習支援センター305会議室

②理事会

隔月で開催する。

（2）事務局体制

- ①事務局長：野崎隆一 事務局スタッフ：川村憲之、東末真紀